

		CBD/COP10		
		開催前	開催中	開催後
国内ですべきこと	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市民にもっと知らせて協力を得られる様にする ・COP10に向けての英会話教室を行う(COP10についても知り、参加される方に対応できるようにする) ・子ども達理解できる様に伝え、一緒に何かに参加すると良い ・CBDカフェをつくる ・CBDが生活にどう直結しているかをインタープリターしたい ・地元の社会生活が成長するチャンスにしたい ・駅など公共の場でCOP10をアピールする ・1企業1標語コンペでキャンペーンを行う ・地元学を超える発信をする ・地域の狭さを世界とつなぐ視点で広げたい ・NGOのネットワーク運営(人)に資金が欲しい ・刻一刻とどう意識が変化するかアンケート ・複数言語の地図を用意する ・学生への紹介・参加 ・閣僚とNGOの意見交換の場をセットする ・食料は地元のものを使う ・植物を自然の植物に戻す ・料理、文化も多様性と思うので各国料理教室を開く ・自然と生物を対象とした写真展を開く ・どんな人も生物多様性COP10に関心が持てるようなTV番組をつくる ・ポスター・イベントでCOP10について広報活動を行う ・NGOグループへの参加を働きかける ・まちなかの美味しいものマップ、見学地マップをつくる ・安価な宿泊施設の情報マップをつくる ・多くの外国人が参加するために外国人間でうまくコミュニケーションがとれるようにする ・行政機関にNGOの声を伝える手段を提案する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイプログラムなどをつくり、日本の生活を伝え相手国の文化も学ぶ ・途上国の貧困を伝えるNGOを迎えたい ・案内を一緒にしてあげる ・南北問題を具体的に感じたい ・ボンの様にNGO向けCBD説明会を開催する ・名古屋等近場で、環境について取り組んでいる場所の紹介と行き方の案内やツアー ・児童労働の問題に焦点を当てたい ・会議で何が話し合われているかを、一般市民に分かるように伝える ・世界地図の無料配布 ・半強制的に会話することとなる場を提供する ・おいしい食べ物を提供する ・一般NGOと各国NGOとの意見交換の機会を設ける ・フェアトレード商品のPRイベントをする ・生物多様性の重要性を考える資料、パンフレットを多言語でつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・CBDであなたは変わりましたかアンケートをする ・生物多様性パンデミックを起こす ・まだ終わってないぞキャンペーンをする ・生物に国境はないので色々な枠組みを作って参加を呼びかける ・行政・企業・NGOなどでオールジャパン体制をつくる ・まちなかで安価で気軽に立寄れる喫茶店を運営する ・空港・駅や道路を多言語案内にする ・議定書の内容を実行する 	
世界ですべきこと	<ul style="list-style-type: none"> ・Countdown2010のキャンペーンに参加する団体を増やす ・女性と生物多様性について、とり上げたい ・情報を処理する ・オバマさんに「CBDに入ってね」と手紙をみんなで送る ・閣僚とNGOの意見交換の場をセットする ・途上国のNGOが会議に参加することを支援する(資金調達など) ・外国人留学生と日本人学生による交流会を開く ・生物多様性COP10について知らせるポスターなど地下鉄の電車内に貼り、多くの人の目に触れるようにする ・行事企画の場にNGOが参加する ・国際会議を契機に海外NGOと協力を強め、影響力を持てるようにする ・国際会議を契機に海外NGOと協力を強め、影響力を持てるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の壁を乗り越えたい ・アメリカ政府にCBDに調印させたい! ・学校、学生がまず生物多様性の大切さを教え、広げる。 ・子ども達にも生物多様性が分かりやすいように絵本をつくるor募集する ・生物多様性という言葉・考え方を多くの人に伝える ・ポスターセッションを開催する ・NGOミーティングを企画する ・COP10を利用して行政に働きかけを強める ・COP10における厳しい法規制などの実現を求める ・COP10におけるNGOの意見の影響力強化のための議事制度を設立する 	<ul style="list-style-type: none"> ・CBD/COP11開催国のNGOとの協力体制をつくる 	